

令和4(2022)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
修士課程入学試験案内
(夏季募集・修正版)

文化・人間情報学コース

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

1. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は正・副2枚ある。必ず2枚とも提出すること。
- (2) 入学願書（正・副）は、コースにより様式が異なるので、十分注意して選択し、1コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書（正）で選択したコースに出願したものとして取り扱う。
- (3) 「外国語（英語）受験方法」欄は、該当する項目にレ印を付けること（「外国語（英語）試験について」参照）。
- (4) 「一般選抜／特別選考枠」欄は、該当する項目にレ印を付けること。
- (5) 「出身大学」欄に正確な学部・学科名を必ず記入すること。また、東京大学を令和4(2022)年3月に卒業見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。
- (6) 大学院を修了している場合も、「出身大学」欄には学部に関する履歴を必ず記入すること。また、複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、裏面の履歴に記入すること。
- (7) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄の大学に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。
- (8) 入学願書（正・副）、受験票に貼付する画像データと写真票に貼付する写真は、同一のものを使用すること。
- (9) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

2. 成績証明書に関する注意

- (1) 成績証明書は、必ず教養課程を含んだ4年間分を提出すること。
- (2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。
- (3) 複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。
- (4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。
- (5) 原本を提出すること。

3. 指導教員希望調査書に関する注意

- (1) 「学生受入教員名簿（修士課程）」（後掲）を参照の上作成すること。
- (2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースの学生受入教員名簿に記載された教員から選ぶこと。
- (3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

4. 推薦書に関する注意

- (1) 出願者の専門領域に関わる研究面あるいは、実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。
- (2) 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。
- (3) 評価者は、推薦書記入後、指定のウェブサイトへアップロードすること。

5. 日本語学力証明書に関する注意

- (1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。
- (2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な

様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

6. 各種証明書及び提出書類等に関する注意

- (1) まれに発行元の都合で証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違がないことを証明のうえ、提出すること。
ただし、新型コロナウイルス感染症により願書出願期間に各種証明書の原本（原本証明も含む）の提出が困難である場合は、令和 4(2022)年度本学府入学試験（夏季募集）に限り、一時的にコピーや電子媒体の証明書でも受理する（原本確認は、入学手続き時に実施する）。
なお、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。
外国語試験の成績証明書の取扱いについては、本入学試験案内の「外国語（英語）試験について」を参照すること。
- (2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

7. 各種提出書類等に関する注意

- (1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）「7. 提出書類等」に基づき書類等を整理して各自で用意した角形 2 号の封筒（240mm×322mm）に封入し、書留速達郵便で送付すること。
- (2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。
- (3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。
- (4) 「研究計画書」は、必ず表紙(所定様式)の後ろに挿入すること。郵送の場合は、添付して、クリップで留めること（ホッチキス、糊等で綴じないこと）。
- (5) 「自己推薦書」について、情報学及びその関連する分野における実績がある場合は、掲載されている URL 等を記入すること。
- (6) 受験票送付用封筒として、各自で用意した長形 3 号の封筒（120mm×235mm）の表（おもて）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し 384 円分の切手を必ず貼り提出すること。
- (7) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。
- (8) 上記に加え、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）に基づき、写真票、推薦書、受験票送付用封筒を除いた全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。アップロード方法の詳細は東京大学大学院情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。提出書類は、個別に指示が無い限り、両面印刷しクリップで留めること。郵送物は返却しない。郵送物、提出書類の到着等に関する電話、メールによる照会には一切応じない。
- (9) ポートフォリオは、他の提出資料と合わせて 1 つの PDF としてまとめ、原本の郵送および指定のサイトよりアップロードするものとする（アップロード方法の詳細は東京大学大学院情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する）。郵送の場合は、書類や資料は修士課程学生募集要項に指定された封筒に収まる大きさまでとする。提出物は返却しない。
 - ・デザイン・芸術表現等の分野におけるこれまでの顕著な活動を説明する資料（書式任意）。複数人での活動の場合、個人としての貢献を証明、または明確に説明することが望ましい。
 - ・必要に応じて、賞状のコピー等の業績を証明する資料や、作品のコピーを PDF 内に添付しても良い。
 - ・ポートフォリオ内、サイズや形式の関係で PDF には収まらないファイル、映像、ウェブ

等への URL（および必要に応じてパスワード）を含めても良いが、これらはあくまで参考とし、PDF 内に記載された内容をもとに評価を行うものとする。URL の先のファイルは 2021 年 8 月末までは閲覧可能な状態にしておくこと。

文化・人間情報学コース案内

本学府修士課程[文化・人間情報学コース]は、21世紀的な諸課題に理論的かつ実践的に取り組んでいくことのできる深い学識と精緻な方法的能力をそなえた研究者や実践者を養成する教育を行います。具体的な研究分野には、生命、身体、環境、文化、表象、歴史情報、メディア表現、学習、リテラシー等の諸領域が含まれます。

1. 募集人員

募集人員
20名（夏季、冬季の入試の合計人数である。特別選考枠を含む。）

(注1) 本コースでは、「特別選考枠」を「社会人特別選抜枠」として取り扱う。

(注2) 試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

(注3) 冬季の募集（若干名の予定）については改めて発表する。

2. 試験科目等（一般）

(1) 一次選考

判定は、外国語試験の成績証明書及び書類選考により行われる。

試 験	内 容
提出書類 (外国語(英語))	「外国語(英語)試験について」(後掲)参照
提出書類 (研究成果物)	必須 ：出願者の研究能力を評価できる、研究計画に対応した学術的な論文。A4判任意用紙10枚以上を目安とする。 追加 ：作品を収録したポートフォリオなど。 論文誌・プロシーディングス等の刊行済みの業績以外については、指導教員・勤務先の上司などによる、客観的な評価を推薦書に含めるよう、評価者に依頼すること。
筆記試験 (専門科目)	文化・人間・情報に関わる知識と研究能力を問う共通問題1問に解答するとともに、選択問題1問に解答する。選択問題は、文化・人間情報学コースの基礎三領域(人間・環境/歴史・文化/メディア・コミュニケーション)と、情報に関する理工学領域(電子情報学/機械情報学/都市工学/社会基盤学)を合わせた複数問題から1問を選択して解答する。共通問題は日本語で解答すること。選択問題は日本語・英語のいずれかで解答すること。

(2) 二次選考

一次選考合格者のみを対象に、オンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。

口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ(ノートパソコン等)が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。

また、口述試験で、入試案内の筆記試験(専門科目)にて示されている内容について試問を行う場合がある。

試 験	内 容
口述試験	基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。本人の説明時間は15分以内とする。

3. 特別選考枠：社会人特別選抜枠

(1) 趣旨及び条件

文化・人間情報学分野で求められる高度な専門的能力を育成し、文理を通じた幅広い視野を有する専門的職業人を養成するために、関連分野において活躍してきた社会人を対象に、特別選考を行う。特別選考による募集人員は、定員の約3分の1を上限とする。本コースの特別選考枠（社会人特別選抜枠）は、文化・人間情報学に関連する分野におけるこれまでの活動の実績も重視して選抜を行う。試験科目は一般選抜と同じである。

(2) 出願時提出書類

特別選考枠での受験を希望する者は、文化・人間情報学に関連する分野におけるこれまでの優れた活動を示す業績の目録（著書、論文、作品、業績ポートフォリオなど。ただし、主要なものに限る）をPDFファイルとして提出すること。なお書籍など、デジタルデータ化が困難なものについては、書誌情報などを添付すること。

上記に加え、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）に基づき、「7. 提出書類等」におけるアップロードの提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。

アップロード方法の詳細は東京大学大学院情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。

(3) 試験科目

一次選考 一般選抜と同じ

二次選考 一般選抜と同じ

外国語（英語）試験について

一次選考（書類選考）における外国語（英語）の試験は下記Aの方法による。

本学府が指定する TOEFL-ITP は実施しない。

入学願書の所定欄の希望する受験方法に一つだけチェックすること。

なお、外国語（英語）の試験について、下記で指定する受験方法以外は認めないので注意すること。

A. 次のア、イ、ウ、エいずれか1つを提出する。

ア. TOEFL-PBT または TOEFL-iBT の公式スコアシート

※TOEFL iBT Special Home Edition も可

イ. TOEIC の公式認定証

ウ. IELTS の公式成績証明書

※Computer Delivered IELTS (アカデミック・モジュール) も可

エ. 実用英語技能検定（英検、英検 CBT、英検 S-CBT）の合格証明書、英検 CSE スコア証明書

【ア. TOEFL (<https://www.cieej.or.jp/toefl/>) について】

○試験の種類：TOEFL-PBT または TOEFL-iBT とする。

※TOEFL iBT Special Home Edition も可

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2019年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2. 出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：下記①と②両方とも必要

①「**Examinee Score Report (Examinee's Score Record)**」のコピー、または「**Test Taker Score Report**」を印刷したもの。

Examinee Score Report (Examinee's Score Record) は、ETS (Educational Testing Service) から本人に送付されるものである。Test Taker Score Report は、TOEFL のウェブサイトを確認すること。
(<https://www.ets.org/jp/toefl/ibt/scores/get/>)

②「**Institutional Score Report**」または「**Official Score Report**」

Institutional Score Report または Official Score Report は、ETS から東京大学大学院学際情報学府宛 に直送されるものである。
受験生は、ETS に対して Institutional Score Report または Official Score Report の送付を請求する必要がある。

○提出方法：①「Examinee Score Report (Examinee's Score Record)」のコピー、または「Test Taker Score Report」を印刷したものを、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和3(2021)年7月30日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。

②「Institutional Score Report」または「Official Score Report」の到着期限は、令和3(2021)年7月30日(金)を原則とする。ただし、令

和 4(2022)年度本学府入学試験(夏季募集)に限り、到着期限内に「提出書類①」が本学府へ提出されていれば、到着期限後であっても受理する。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード: 0440 (U of Tokyo, Grad Sch Inter Info)」Department コード: "99" (Any Department Not Listed)へ送付するよう必ず請求する。
注) 請求方法などは、TOEFL のウェブサイトですべて確認すること。
<https://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/scores.html>

- 注意事項: ※ Institutional Score Report または Official Score Report が複数枚届いた場合は、①と同一のスコアを採用する。
- ※ 各スコアの到着には約 6 週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認すること。
- ※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【イ. TOEIC (<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>) について】

- 試験の種類: TOEIC L&R または TOEIC Test とする。
※ 「TOEIC S&W、TOEIC Speaking、TOEIC Writing、または TOEIC SW Test」、
「TOEIC Bridge Test または TOEIC Bridge」のスコアは受け付けない。
- 有効期限: 本学府入学試験の 2 年前(2019 年)の 9 月 1 日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。
- 提出書類: 「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本とする。
原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール (gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp) で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送(必ず返信用封筒(現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付)を同封すること)し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。
団体特別受験制度(IP: Institutional Program)の Score Report (個人成績表)、スコアシートのコピーなどは受け付けない。
- 提出方法: 願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。
ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和 3(2021)年 7 月 30 日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。
- 注意事項: ※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【ウ. IELTS (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>)】

- 試験の種類: アカデミック・モジュールとする。
※ Computer Delivered IELTS (アカデミック・モジュール) も可。
※ ジェネラル・トレーニング・モジュールの成績は受け付けない。
- 有効期限: 本学府入学試験の 2 年前(2019 年)の 9 月 1 日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。
- 提出書類: IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) 原本

原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール（gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp）で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送（必ず返信用封筒（現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付）を同封すること）し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。また、下記提出方法も参照すること。

○提出方法：IELTS 公式成績証明書（Test Report Form）原本は、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和3(2021)年7月30日（金）本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。

また、IELTS を実施している公益財団法人日本英語検定協会の管轄オフィスから大学に成績証明書（Test Report Form）を送付するサービスを使って提出することも可とする。その場合、令和3(2021)年7月30日（金）本学府必着とする。管轄オフィスに対して東京大学大学院学際情報学府宛へ送付するよう必ず請求する。あて先は、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）「2. 出願方法・出願期間等」を参照すること。

注）請求方法などは、IELTS のウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.eiken.or.jp/ielts/result/>

<https://www.eiken.or.jp/ielts/apply/>

○注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【エ. 実用英語技能検定 (<https://www.eiken.or.jp/eiken/>) について】

○試験の種類：実用英語技能検定及び英検 CBT（Computer Based Testing）、英検 S-CBT とする。

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2019年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2. 出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。これから実用英語技能検定を受験する者は、試験開催日を確認し、日程に余裕を持って受験すること。

○提出書類：実用英語技能検定1級または準1級の「合格証明書（和文）」、「英検 CSE スコア証明書」の原本とする。

原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール（gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp）で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送（必ず返信用封筒（現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付）を同封すること）し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。

○提出方法：願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒により、令和3(2021)年7月30日（金）本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。

○注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

文化・人間情報学コース
 学生受入教員名簿（修士課程）

学際情報学府修士課程指導教員のうち、令和4(2022)年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。

「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

教員名	役職	本コースにおける担当専門分野（キーワード）
大島 まり	教授	科学技術コミュニケーション、アクティブ・ラーニング、最先端研究と科学技術教育、理科教育
岡 美穂子	准教授	日本の宗教史、文化史、歴史教育、世界史のなかの日本
寛 康明	准教授	インタラクション、メディアアート、実世界拡張、創造・表現活動支援、デジタルファブリケーション、インクルーシブデザイン
影浦 峡	教授	本、翻訳、図書館、情報媒体、言語処理
菊地 大樹	教授	日本中世、仏教、金石文、古記録、歴史情報
佐倉 統	教授	生物進化と文化進化、科学技術社会論、科学技術コミュニケーション、脳神経倫理、AI（人工知能）の文化社会研究
佐藤 宏樹	准教授	医薬品適正使用・育薬、医薬品市販後の調査と情報、地域医療と薬局・薬剤師、薬剤師と患者のコミュニケーション、医薬品情報学、薬物動態学、医療薬学
原田 至郎	准教授	国際政治、紛争、戦争、コンピュータ、文字コード、国際標準、ガヴァナンス、カンボジア、選挙
開 一夫	教授	赤ちゃん学、認知科学、神経科学、機械学習、計算モデル
福島 真人	教授	科学技術社会学（人類学）、科学技術政策、インフラストラクチャ研究、イノベーション研究、組織学習、現代アート/デザイン理論、東南アジア研究
藤本 徹	准教授	ゲーム学習、教育のゲーミフィケーション、オンライン学習コミュニティ、MOOC
前田 幸男	教授	世論調査、選挙研究、マスメディアと政治、政治コミュニケーション、国際比較調査、データ・アーカイブ
真鍋 祐子	教授	コリアン・スタディーズ、宗教運動と民衆運動、ナショナリズムとツーリズム

三輪 哲	教授	計量社会学、社会調査法、階級・階層・移動、縦断的研究、データ・アーカイブ
武藤 香織	教授	研究倫理、医療イノベーション政策、社会学、生命倫理学、障害学
山内 祐平	教授	学習環境のイノベーション、ブレンド型学習、創発型学習空間、学習支援システム
山名 淳	教授	教育哲学・思想史、メモリー・スタディーズ、想起文化、教育アーキテクチャ、メディアと人間形成
横山 広美	教授	科学コミュニケーション、科学とクラウドファンディング、科学とジェンダー、ビッグサイエンス、科学技術政策
渡邊 英徳	教授	デジタルアーカイブ、情報デザイン、コミュニティデザイン、データジャーナリズム、ビジュアルライゼーション

(五十音順)